



# 神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー

大野 清一

- 会 長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副 会 長 天野 公史
- 副 会 長 鴻 義久
- 幹 事 植田 清司
- 副 幹 事 朝日 達夫
- 会 計 渡 邊 淳
- 副 会 計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員 (平成27年4月2日撮影)

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

**例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

**例会場** ホテルキャメロットジャパン

**創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日

**U R L** <http://www.kanagawahigashi.com/>

**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2014-2015年度 第36週報 No. 1877 2015年(平成27年) 3月27日 第1877回例会記録 4月3日発行

**司 会** 朝日 達夫 副幹事

**誕生日祝** 横溝 亘 会員 (3月10日)  
神奈川RC 金野 克佐 様 (3月31日)

**点 鐘** 山田 正憲 会長

**斉 唱** 「手に手つないで」

**四つのテスト** 角田 伯雄 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)



**ゲスト紹介** 石塚 美和 様 (ゲストスピーカー)

### 本日〈4月3日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献 立 小海老のカレー
- ◆ 卓 話 イニシエーションスピーチ

古澤 一憲 会員

<< 本日のBGM >>  
「アルルの女 組曲 (ピゼー)、牧神の午後への前奏曲 (ドビュッシー) 外」

**ビジター紹介** 神奈川RC 金野 克佐 様

### 結婚記念日祝

長井 章 会員 (3月29日)  
 竹山 洋 会員 (3月29日)  
 岩澤 利雄 会員 (3月30日)

### スマイルボックス

青柳 紀 副SAA

神奈川RC 金野克佐様 本日もお世話になります。お誕生日祝い、ありがとうございます。



岩澤利雄君 お誕生日祝い、ありがとうございます。  
 横溝 亘君 お誕生日祝い、ありがとうございます。  
 長井 章君 結婚記念日祝い、ありがとうございます。  
 竹山 洋君 結婚記念日祝い、ありがとうございます。  
 山本芳弘君 入会記念日祝い、ありがとうございます。  
 山田正憲君 石塚様、本日のお話、よろしくお祈りします。  
 青柳 紀君 横山さんの訃報を知りました。ビックリしました。心からご冥福をお祈り申し上げます。  
 山本 登君 本日、所用にて早退致します。ご容赦下さい。  
 伊東英紀君 春らしくなってきました。  
 河野明光君 青柳さん、目と目が合ったので、スマイル入れます。  
 植田清司君 本日の卓話、石塚美和様、楽しみにしています。よろしくお祈り致します。

### 入会記念日祝

山本 芳弘 会員 (4月2日)



矢野修二君 ①石塚美和様、本日の卓話、楽しみにしております。  
 ②元クラブ会員の横山氏のご逝去の報に接し、ご冥福をお祈りします。  
 角田伯雄君 石川さん、先日は美味しいお酒、ありがとうございます。小山さん、横溝さん、お疲れ様でした。  
 白鳥厚夫君 2回目のお願いです。 「神奈川東RC会員同士のコミュニケーションをより良くし、充実したロータリーライフを送るための調査」の提出を、よろしくお祈り致します。  
 岡部雄一郎君 鴻さん、小池さん、月山さん、先週はありがとうございました。 “魚料理”、大変美味しかったです。

3月27日	16件	60,000円
本年度累計		1,821,140円

### 卓話

### 「日本生活問題研究所と昨今の情勢について」

一般社団法人 日本生活問題研究所 石塚 美和 様  
 (紹介者 矢野 修二 会員)

#### ●一般社団法人 日本生活問題研究所について

日本生活問題研究所(日生研)は、終戦の年、昭和20年12月に設立されました。

終戦直後の日本は食糧難に喘ぎ、餓死者が出るほどの深刻な飢餓状態にあった中、アメリカ政府に対する食糧支援申し入れに必要な具体的データとして「国民の栄養状態及び食糧事情」実態調査を行うために設立されました。

2012年、一般社団法人への移行に伴い、現在は国民の「安全、安心」を阻害する諸問題の解決を目的とした事業を行っており、組織は次のセンターからなります。

### 幹事報告

植田 清司 幹事

・次週、例会終了後にクラブ奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。大勢の参加、お待ちしております。

### 出席報告

森永 健 会員

会員総数	55名	(33+22)名	
出席会員数	39名	(24+15)名	
出席率	81.25%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	88.89%	前々回補正後	93.48%



## 2015-16年度地区協議会開催

3月29日（日）、聖光学院中学校・高等学校において2015-16年度地区協議会が開催されました。



大野清一ガバナー 挨拶



懇親会



- ・就職活動支援センター
- ・快眠支援センター
- ・サイバーセキュリティ支援センター
- ・家庭教育支援センター
- ・企業リーダー支援センター
- ・知的社会情報サービスセンター

### ●サイバーセキュリティ支援センターの活動について

近年、インターネットが普及し、私たちの生活はとてとても便利になりました。しかしながら、一方で「サイバー攻撃」という脅威も、その簡易さや多様性を増し、利便性に比例して息を潜めながら近づいてきているようです。一例では、2014年の不正アクセス禁止法違反事件は過去最多で、うちインターネット銀行の不正送金事件は1,944件<sup>1</sup>、被害額は約29億1,000万円にものぼっています<sup>2</sup>。

—あなたは大丈夫ですか？—

- ・パスワードは、どう管理していますか？
- ・パソコンがウイルスに感染したら、どんな現象が起きるか知っていますか？
- ・お子さんが携帯電話をどのように使用しているかわかりますか？
- ・家族、友人、知人とスマホで撮影した画像はどうしていますか？

サイバー犯罪のターゲットは官公庁や企業だけではありません。今や一般ユーザーにも被害は拡大しています。

さらに近年、迷惑メール、ネット詐欺、ネットいじめ、情報漏えいなど、インターネットを取り巻く問題は多様化しており、「自分だけは大丈夫」といった油断はできない状況です。

日生研の「サイバーセキュリティ支援センター」ではサイバー有識者を結集し、サイバー攻撃の現状について啓蒙啓発するための各種セミナーを開催する等の活動をおこなっています。

<sup>1</sup> 2015.03.19 日本経済新聞

<sup>2</sup> 2015.02.12 警察庁「平成26年中のインターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生状況等について」

## ロータリーニュース

### 内戦下の南スーダンにきれいな水を

東アフリカの南スーダン。この国の最辺境の地域で、南スーダンと米国のロータリー会員たちが移動困難な地形と激しい内戦の中、現地の人びとのために給水施設の設置を進めています。

世界で最も新しい国、南スーダンは、2011年に独立国家としての道を歩み始めました。しかし、19世紀以来土地と資源をめぐる争ってきたディンカ族とヌアー族との紛争が悪化し、2013年12月から内戦状態が続いています。既に数万人が死亡し、180万人ほどが行き場を失いました。

また、政府と反対勢力との間で結ばれた3回の平和協定もすぐに破られてしまいました。武力衝突は主に国境地帯で起こっていますが、国境から離れた地域でも経済危機やインフラの荒廃が進んでいます。政府による支援がほとんどなく、汚染された水による感染症や飢饉が深刻化しています。

そんな中、南スーダンの首都ジュバと、米国ウィスコンシン州のロータリー会員が、南スーダンの山間にあるテネットボマ地域で、10の村の住民のために、給水インフラの構築に取り組んでいます。

ロータリー会員たちは、ロータリー財団のグローバル補助金を活用して47,000ドルの資金を確保。その資金で井戸を掘り、太陽光電池で動くポンプ、19,000リットルの貯水タンク、6から10の蛇口を設置することで、14,000人の人たちがきれいな水を使えるようになることを目指しています。

このプロジェクトは、当初から困難に突き当たりました。村が集まっている地域から最寄りの町までは1本の道路があるだけで、歩いて3日かかります。年2回訪れる雨季には道がぬかるみになり、建設資材どころか救援物資さえ、輸送がほとんど不可能になります。補助金が承認されたのがちょうど雨季だったため、しばらくは資材の調達もできませんでした。

また、支援の対象となっている地域への立ち入りを反抗勢力が制限しているため、そこへ辿り着くことさえも非常に難しい課題です。

その地域で影響力のあるジュバのロータリー会員は、政府関係者、反対派リーダー、部族リーダーたちにこの水プロジェクトの重要性を理解してもらうことで、困難を克服しようとしています。

また、当初利用する予定だった業者が武力紛争を嫌ってプロジェクトから撤退したことも、さらなる遅れの原因となりました。内戦のため、プロジェクトに参加できる業者が少ないことも問題となっており、ロータリー会員たちは政府やほかのNGOと協力し、代わりの業者を探しています。

これらの困難にもかかわらず、ロータリー会員の固い決意は変わりません。長年南スーダンを支援してきた米国ウィスコンシン州のロータリー会員、ジョン・ケリーさんは次のように述べています。

「私たちはあきらめません。できる限り多くの政府関係者、NGO関係者、その他の人びとの関係を築き、情報を収集すれば、このプロジェクトは必ず完成します」

### 世界一周の航海でポリオ撲滅を支援

緩やかな風が吹き、静寂に満ちた太平洋。キム・スンジンさんの約13メートルの帆船「Arapani」号の脇をイルカたちが泳ぎます。こんな穏やかな海を旅する日もあれば、南アフリカの最南端、ケープホーンを航海したときのように、7メートルの波と強風に見舞われた日もあります。長年の経験を持つベテラン船乗りのキム・スンジンさん（韓国、ソクムン・ロータリークラブ）は昨年10月、約4万キロにもおよぶ世界一周航海の旅に出ました。その目的は、自分の夢を叶えることだけでなく、ロータリーのポリオ撲滅キャンペーンへの認識を高め、20万ドル以上を集めることです。

8カ月にもおよぶこのチャレンジは現在、半ばに差し掛かり、2月初旬に、南太平洋のサウスジョージア島、サウスサンドウィッチ島を通り、南アフリカの喜望峰に到達しました。

「Sailing With Hope」（希望の航海）と名付けたこのチャレンジについてキムさんはこう話します。

「より明るく、発展した未来のために、人びとに信念と希望を与えたいんです。ロータリーはポリオ撲滅活動を通じてまさにそれを行っています。私が世界一周の航海をするのは、この地球からポリオをなくす活動を支えたいからであり、世界中の人びとに撲滅が目前まで迫っていることを知らせたいのです」

キムさんの船「Arapani」号の帆には、End Polio Nowのロゴが鮮やかにプリントされています。このロゴを目にした人がポリオ撲滅に関心を示してくれるのではとキムさんは期待しています。チャレンジの成功は、ポリオ撲滅への認識をどれだけ高められたかにかかっていると話すキムさん。

「（航海が終わったとき）より多くの人びとの関心を集められれば、ポリオ撲滅への寄付も自ずと増えるでしょう」

韓国にいる仲間のロータリアンと毎日衛星電話で連絡を取るキムさんですが、孤独感にさいなまれることもあると言います。

「この旅で一番辛いことは、自分が広い海の真中でたった一人なのだと感じる時です。何とも言いようのない寂しさが襲ってきます」

5月に韓国へ戻る予定となっており、その時までには、太平洋、大西洋、南極、インド洋を通過することとなります。一番楽しみにしているのは、家庭料理と家族とともに同じ屋根の下で眠ることと話すキムさんはすでに、世界一周航海を夢見る若い人たちと一緒に、もう一度このチャレンジを行おうと考えています。

韓国の18地区が後援するキムさんの世界一周航海が始まった日、仲間のロータリアンが港に集まり、思い思いの詩や応援の言葉、写真などを持ち寄ってくれました。

「仲間のサポートと励ましに本当に感謝しています。彼らこそ私のインスピレーションの源です」とキムさん。

キムさんのサポートチームの一員で、第3620地区ガバナーのチョ・サンヒョンさんは、地区内のロータリアンともども、キムさんの航海を見守っているといます。

「世界一周に挑戦しているキムさんを本当に誇りに感じています。彼のメッセージによって、もっとたくさんのロータリアンがポリオ撲滅活動に参加するようになるはずですよ。これはロータリーにとっても素晴らしいこと。人は、誰かの前向きで懸命な姿に心動かされるものです。キムさんのこの活動は、すでに多くの人の関心を集めています」



ロータリーニュース

次回《4月10日》の卓話予定

テーマ 「未定」

菊名記念病院 心臓血管外科 奈良原 裕 様  
（紹介者 山本 登 会員）